

龍樹菩薩ゆかりのナーガールジュナコンダとアジャンター・エローラ石窟寺院、サンチー仏塔 7日間

龍樹菩薩ゆかりの南インド・ナーガールジュナコンダ、壁画や仏像、彫刻の数々が世界的に名高いアジャンター、エローラの石窟寺院群、塔門の緻細な彫刻で知られるサンチー仏塔を訪れるコースです。お釈迦様の時代の後の仏教が花開いた時代の栄華を垣間見ることができます。

1	各地空港 ⇒ 経由地 ⇒ ハイデラバード 空路、経由地で乗り継ぎ、ハイデラバードへ 【ハイデラバード泊】
2	ハイデラバード → ナーガールジュナコンダ 空路、ナーガールジュナコンダへ 船に乗ってナーガールジュナコンダ島へ渡り、遺跡見学 (南インド様式の仏塔、僧院、仏像、博物館) 【ナーガールジュナコンダ泊】
3	ナーガールジュナコンダ → ハイデラバード → アヌブ丘遺跡見学(僧院跡、野外ホール跡など) ハイデラバードへ ハイデラバード見学(チャールミナール、旧市街など) 夜行列車にてオーランガバードへ 【車中泊】
4	オーランガバード → エローラ → オーランガバード エローラへ エローラ石窟寺院群見学(仏教窟、ヒンドゥー教窟、ジャイナ教窟) オーランガバードへ オーランガバード石窟見学 【オーランガバード泊】
5	オーランガバード → アジャンター → プサル → ボパール アジャンターへ アジャンター仏教石窟寺院群見学 プサルから列車にてボパールへ 【ボパール泊】
6	ボパール → サンチー → ボパール → アーグラ サンチー仏塔見学(仏塔、塔門、僧院跡、博物館) ボパールから列車にてアーグラへ 【アーグラ泊】
7	アーグラ → デリー ⇒ 経由地 ⇒ アーグラ見学(白亜の廟・タージマハル、アーグラ城) デリーへ 空路、経由地で乗り継ぎ、帰国の途へ 【機中泊】
8	各地空港 入国手続きと税関

大乘八宗の祖と言われる龍樹菩薩ゆかりのナーガールジュナコンダ

ダム湖建設のため、主要な遺跡を1つの島に移築したナーガールジュナコンダには、他にはない上座部仏教と大乘仏教の礼拝用のストゥーパと仏像、仏塔壁面に施された仏教説話や仏塔の彫刻、2m以上の仏立像などが遺跡や博物館にあり、見応えのある遺跡です。島にはボートで行き、旅情を掻き立てます。



仏像



仏塔

インド仏教美術の至宝・アジャンター仏教石窟寺院群

祠堂を意味するチャイティヤ窟と僧院を意味するヴィハール窟で構成され、全30窟の全てが仏教窟です。第1窟の蓮華手菩薩をはじめとした極彩色の壁画、第26窟の涅槃像、各窟内部彫刻、本尊の仏像、石窟正面の外壁彫刻の数々はインド仏教美術の至宝と賞われています。



蓮華手菩薩壁画



石窟寺院入口の彫刻

3つの宗教の石窟が混在するエローラ石窟寺院群

仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教それぞれの石窟寺院があり、全34窟あります。第1窟から第12窟が仏教窟で、特に第5、10、11、12窟は窟の建築や本尊、彫刻などが秀逸です。エローラで最も有名なものはヒンドゥー教窟の第16窟で壮大な規模で圧倒されます。



礼拝窟の本尊



ヒンドゥー教窟

イスラム教徒が多い“リトル・パキスタン” ハイデラバード

インド中南部に位置するハイデラバードはベンガルールに次ぐインド有数のIT都市として知られています。また、“リトル・パキスタン”と呼ばれるほどイスラム教徒が多く、人種・宗教の垣根という側面と持つインドを表している町とも言えるでしょう。ビルヤニに代表されるハイデラバード料理も人気です。



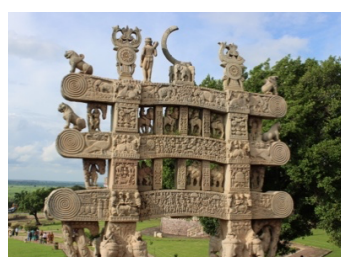
イスラムの雰囲気が漂うハイデラバードの街並み

塔門の彫刻が美しいサンチー仏塔

紀元前3世紀にアショーカ王の時代に建立されたもので、現存するものでは最も古い仏塔です。トラーナと呼ばれる仏塔の四方に立つ門には、釈尊伝の彫刻が細かく施され、釈尊を法輪、菩提樹などで表現しています。仏像が誕生する前は釈尊を人間として表すのは畏れ多いと考えられていました。



仏塔と塔門



塔門の彫刻